

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

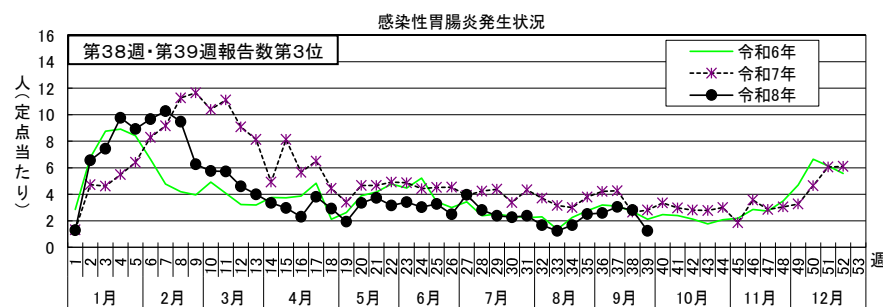
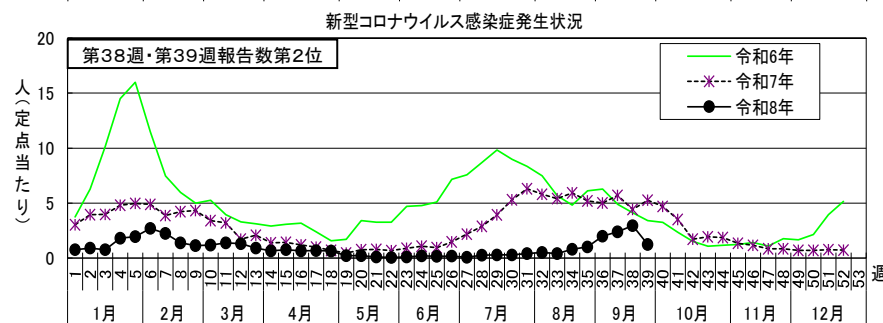
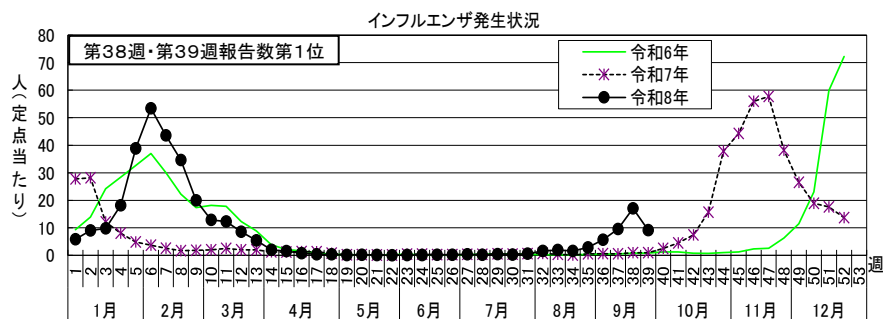
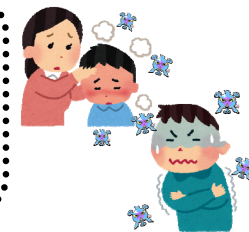
令和8年9月14日（月）～9月20日（日）〔第38週〕及び9月21日（月）～9月27日（日）〔第39週〕の感染症発生状況

第38週・第39週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）新型コロナウイルス感染症 3）感染性胃腸炎でした。

第38週のインフルエンザの定点当たり患者報告数は17.03人と前週（9.52人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

第38週の新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.97人と前週（2.39人）から増加しました。

第39週はシルバーウィークで多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。

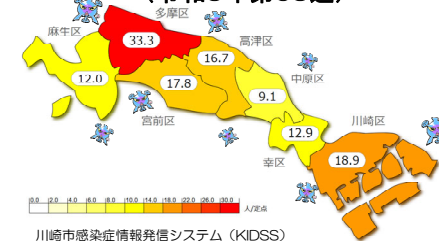


インフルエンザの流行発生注意報が発令されました！

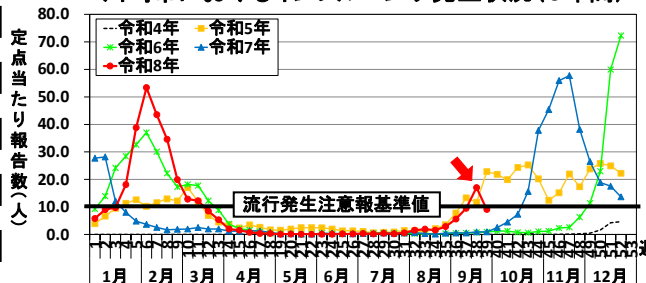
川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和8年第38週（9月14日～20日）に17.03人となり、流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を超えました。第39週（9月21日～27日）は定点当たり9.08人と減少しましたが、連休中に休診した医療機関の影響と考えられるため、今後は報告数が増加する可能性があります。

また、流行期となった第32週（8月3日～9日）以降に健康安全研究所で検出されたインフルエンザウイルスは18件であり、そのうちAH1pdm09型が17件、A香港型が1件、B型が0件でした。インフルエンザの更なる感染拡大を防ぐため、咳エチケットや手指衛生等の対策を徹底しましょう。

川崎市におけるインフルエンザ分布マップ（令和8年第38週）



川崎市におけるインフルエンザ発生状況（5年間）



川崎市におけるインフルエンザウイルス検出状況
— 令和8年第1週～令和8年第39週 —

